

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ひまわり		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等 (左記の取り組みに対する職員の姿勢)	さらに充実を図るための取組等
1	音楽を使った体のケア 歩く、ギャロップ、スキップ、跳ぶ、跳ねるなど、輪っか、マット、平均台などの遊具も使ったリズム遊びと身体作り	電子ピアノを弾きながらメリハリのある動作の流れを構築し子どもたちが楽しく活動できるよう、曲目や曲調を工夫している。	遊びや活動が支援につながるよう子どもたちの思いに寄り添いつつ、効果的な支援になるよう常に活動内容を研鑽する。
2	言語聴覚士の個別支援 吃音がある子どものケア 発語を促すケア 等	カードやパズル、絵本等を使って一対一で遊びを楽しみながらの指導を心がけている。	楽しくとりくむことをモットーにし、支援内容の効果等を精査し、支援内容の見直しをしながらより良い支援の構築を図る。
3	好きな遊びを選べるよう 2F コーナー遊び(ままごと、えほん、積み木、パズル、造形、手先を使う作業、箱庭、カード・ボードゲーム等) 1F 運動遊び(トランポリン、ボルダリング、リズム遊	子どもたちがしたいという遊びが楽しく遊び込めるよう環境を用意している。	子どもたちが遊びや活動を達成感をもって終われるよう、支援者は距離間を考慮しながら支援する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性を高める。	体のケアを必要とする子どもに対して、外部の専門の人に依頼することが時にある。	専門性を持つ職員の採用と講師を依頼し、職員の専門性を高める。
2			
3			